



## 令和4年度を終えるにあたり

学校長 森本 信一

いよいよ、令和4年度(2022年度)も最後の月を迎えました。今年に入り、新型コロナウイルス感染症については落ち着きが見られるようになったことからマスク着用の緩和や、5月8日から5類感染症移行の方針も打ち出され、以前の日常を取り戻しつつあります。しかし、インフルエンザも含め感染症に感染することで、様々に支障をきたすことには変わりはありません。特に、3年生は今週公立高校入試を控えています。健康な生活を過ごすために、感染対策については引き続き、気を緩めることがないようにしていきたいものです。

3月14日(火)に卒業式を迎える3年生にとっての中学校生活は、コロナウイルスに翻弄された3年間でした。新しい生活様式により、不便になったこと、気を遣うことが増えました。しかし、コロナ禍の環境では必要なことであり、全員が取り組むことで新たな価値が生まれてきているという実感もありました。さらに、大変な思いで仕事をされている医療従事者の方々、外出制限などにより収入が激減したお店の方々など、社会を支えるため、家族を支えるために身を粉にして仕事をしている方を理解し、思いに寄り添い温かい心で応援しようとする、豊かで優しい人間性が育まれたことは間違いありません。

このような激動の時代に中学校生活を過ごしてきた経験によって得られた学びがたくさんあります。人同士が互いに支え合うこと、励まし合うことの大切さ、大変な苦勞をされている方々を理解し寄り添う気持ちを持つこと、時間を大切にすること、共に学び合うことの楽しさ、協調や団結から生まれる感動、差別や偏見、誹謗中傷などの愚かさ、取り上げたらきりがありません。これらの経験や学びを無駄にすることなく将来に向かって歩んでいってほしいと思います。

1・2年生はそれぞれの学年を修了することになります。卒業生と同様、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた学校生活や、自分の学びの成長をしっかりと振り返ることによって、新年度における新型コロナウイルス感染症には影響されない、これまでと違った中学校生活を新たに創り出していくことができるのだと思います。

保護者や地域の皆様におかれましては、令和4年度も本校の教育活動にご理解いただき、多くのご支援・ご協力をいただきました。ありがとうございます。来年度は、学校行事や地域の行事において、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける以前のような、あるいはそれ以上の生徒との関わりが増えていくことを期待しているところです。

教育を取り巻く環境はこれまでも日々変化してきていましたが、新型コロナウイルス感染症により、想定していなかった大きな変化が急激に訪れました。このような状況を経験したことによって、子どもたちの健全育成には、改めて保護者や地域の皆様の協力が必要であることを実感しました。来年度は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行することによる様々な変化が想定されます。引き続き、串木野中学校の教育推進にご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

### 【学校教育目標】

夢と志をもち、主体的に学び考え行動し、心豊かでたくましい生徒を育成する。

- 1つ目「自分で考える」こと。
- 2つ目「対話する」こと。
- 3つ目「あきらめずに続ける」こと。